

令和6年度 粟ノ保小学校だより

令和6年7月2日 NO.7



ひまわり

羽咋市立粟ノ保小学校
校長 田中 利弘

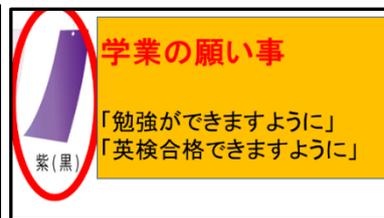
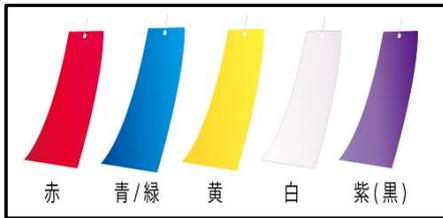
スローガン【すべては 子どもたちの 輝く未来のために】

◇全校集会：校長の話◇

7月に入りました。1学期学習のまとめや水泳練習と頑張り時ですね。さて、7月といえば、七夕。七夕といえば、織姫と彦星のお話が有名です。クイズを4問だしました。1つ紹介します。「七夕に食べるものといえば何？」答えは、ソーメンである」この正解率は高かったです。



七夕の日には、竹の笹に願い事を書きます。願いを書く短冊には5色あることについて話をしました。5色あることを初めて知った子もいたようです。願い事に分けて五色の短冊を使い分けていることは知りませんでした。みなさんなら「何色の短冊に、どんな願い事」を書いてしょうか？



ちなみに、赤(感謝)、青(成長)、黄(人間関係)、白(達成)、紫(学業)です。

皆さんにとって関心が高い、よく書く願いごと「勉強が出来ますように」「英検合格できますように」などは、紫の短冊に書くと良いそうです。しかし、願いだけではかなうほど、世の中そんなに甘くありません。みなさん知っていますよね。努力、努力が必要なのは言うまでもありません。

◇にぎわい交流館ラクナはくい◇

「ラクナ」にて、粟ノ保っ子が屋内バンク遊具、ネット遊具をつかわせていただき遊びました。当日は、AIデマンドタクシーのるまいかーの出発式セレモニーもあり粟ノ保小全校で参加しました。子ども達の元気一杯の声で出発式は大変盛り上がりました。



裏面あります

◇羽咋市の町づくりへの提案◇

去る6月13日（木）に6年生が羽咋市議会を見学しました。元旦の能登半島地震後の羽咋市の安全対策、復旧・復興へ向けて真剣に話し合いをしておりました。そして、6年生は「まちづくり課」を訪問して、「疑問に思っていること」を文章にまとめ課長さんへ提出しました。その疑問についての回答を子ども達に聞かせて下さるために来校しました、

①まちづくり、②能登半島地震の復旧・復興、③人口対策の3グループに分かれて、市職員が子ども達の質問に答えました。

道の駅千里浜、ラクナはくい、住宅地造成など羽咋に人が来てくれる仕組みを学びました。人口も減らさないために施策を考えていることも理解できたようです。

このあと6年生は、「羽咋のために自分たちに何ができるか」を総合的な学習の時間にまとめていく予定です。最後には、町づくり課へ届ける予定です。



◇ちょっと親学◇

子育てにおいて、どの子にも起こりうる体験として2つのパターンを例にあげます。そこに子どもの「自己肯定感」がどのように関わってくるのかについて参考にして下さい。

①困難な状況に直面する「ミスした」「失敗した」「うまくいかない」など

自己肯定感が高いと

→失敗をおそれずに、向き合うことができる。うまくいなくても、あきらめずに取り組み、その「あきらめない経験」が自信につながる。すぐに立ち直ることができるようになる。

自己肯定感が低いと

→失敗をこわがり、なかなか前に進めない。人からのアドバイスを素直に受け入れられない。立ち直るのに時間がかかる。必要以上に自分を責めてしまう。

②新しい人との出会い 中学での進級時のクラス替え 進学時の新しい友だちなど

自己肯定感が高いと

→自分から進んで、コミュニケーションをとり、積極的に声をかけられる。友だちの話をしっかりと聴くことができる。思いやりをもって接することができる

自己肯定感が低いと

→「嫌われたらどうしよう」との想いが強くなり、不安感が増す。

自分と友だちを比較し、自分と違う所に目がいきがちになる。

※子育てで大切にしてほしいこと、それは、「お子さんのことを認める」ということです。

